

## エスエヌ化成株式会社第一工場（愛媛工場大江地区構内）における火災事故について

4月29日に弊社子会社日本エイアンドエル株式会社の子会社であるエスエヌ化成株式会社（弊社（愛媛工場）大江地区構内）で発生した火災事故に関して地域住民の皆様、関係各位に多大なご迷惑、ご心配をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

弊社では、関係機関のご指導も受けつつ鋭意安全管理強化策について検討して参りました。その結果に関し、下記のとおりご報告申し上げます。

弊社といたしましては、今回の事故を深く反省し、これまで進めてきた安全強化策を鋭意すすめるとともに、今回検討した安全管理強化策を確実に実施するとともに、弊社グループ全体に早急に展開し、グループ従業員全員の防災意識のレベルアップを図り、地域住民、関係先の皆様からの信頼回復に努めてまいり所存です。

### 記

1. 新居浜市消防本部への通報の見直し
  - ・市消防への通報を迅速に行うため、警備消防課から市消防向け専用オートダイヤルによる連絡を行うことを検討します。
  - ・夜間休日の保安、連絡を確実にするため警備消防体制の強化を検討します。
2. 地域等への広報・連絡の見直し
  - ・地域住民の皆様への連絡に関して一層の迅速性の向上を図るため、広報塔の使用について、今後、市等と協議しケース別自動音声放送の導入を検討いたします。
  - ・詳しい状況が判明した時点での続報を広報塔より放送することといたします。
3. 愛媛工場の保安防災活動の強化と監査充実によるチェック強化
  - ・愛媛工場で実施しているRC（レスポンシブルケア）連絡会にエスエヌ化成株式会社も参加させ、保安防災情報を共有し、保安安全活動の強化を図ります。
  - ・愛媛工場内の全工場・事業所に対して保安防災に関する監査、指導を実施して、保安防災レベルの向上を図ってまいります。
  - ・本社における取組として、グループ会社のRC活動レベルの向上を目的とした「グループRC業務標準」の適用範囲を従来より拡大運用し、グループ会社のRC管理レベル引き上げを図ります。
4. 防災教育の徹底および防災意識の向上
  - ・愛媛工場区域内に所在する全工場・事業所従業員に防災教育を徹底するため、共同防災訓練の対象をエスエヌ化成株式会社を含む愛媛工場区域内の全ての工場・事業所とし、愛媛工場全体の保安防災体制の強化と防災意識の向上を図ります。
5. 接点業務の見直し
  - ・最近のトラブル事例が協力会社、運送会社、関係会社等との接点業務において発生していることから、接点業務における問題の抽出および対策を実施してまいります。
6. 類似箇所の調査と安全対策の水平展開
  - ・今回の事故における類似箇所の調査を愛媛工場内で実施し、対策を講じてまいります。また弊社全工場、事業所においても対策の水平展開を図ってまいります。

以上

## 参考：事故報告（エスエヌ化成株式会社）

### 1. 事故の状況

- (1) 発生日時 : 2010年4月29日 17:35頃
- (2) 場所 : エスエヌ化成株式会社第一工場（弊社（愛媛工場）大江地区構内）
- (3) 内容 : アクリロニトリル - ブタジエン - スチレン系樹脂（ABS樹脂）加工製品の製造工程において複数回の粉塵爆発が発生し、その結果、樹脂原料等に延焼し約5時間にわたる火災となりました。その後の消火活動により、22:54に一旦鎮火を確認しましたが、翌30日未明に現地でくすぶりが認められたため、市消防が再入場し、3:49に鎮火が確認されました。

### 2. 被害の状況

- (1) 人的被害 : 発生しておりません。
- (2) 近隣への影響 : のどの痛みを訴えられる住民の方が3名おられ、病院にて受診いただき、その後も状態を確認させていただきましたが、特に症状は残っておりません。また近隣の方々には火災時に外出自粛や自宅窓の閉め切り等をお願いするなど、ご不便をお掛けいたしました。
- (3) 物的被害 : エスエヌ化成株式会社第一工場（5階建）の3階および4階の約2,000㎡を焼損いたしました。

### 3. 事故の原因

本件事故は、製造時に混合機にて原料を均一混合し、混合した原料を中間タンクへ移す際に、原料に帯電する静電気が中間タンク内で生じていた粉塵雲に放電して着火し、粉塵爆発を引き起こし、火災に至ったものと考えられます。

その後、中間タンク内で発生した粉塵爆発が混合機からの集塵ダクト、集塵機へと着火伝播し、複数回の粉塵爆発を発生させ、樹脂原料等へも延焼いたしました。

なお、原料の静電気帯電対策として、中間タンクには鱗口クリップによる接地接続をしていましたが、除電効果が不十分であったために放電着火したのではないかと推測しています。

### 4. エスエヌ化成株式会社における再発防止策と今後の取り組み

- (1) 着火防止・除電・帯電防止対策の強化
  - ・中間タンクの窒素シール化、接地設備改良、調湿設備等の諸策の導入を検討し、より効果的な対策を図ってまいります。
- (2) 消火設備の強化（延焼防止対策強化）
  - ・効果的な消火設備の導入検討を進めてまいります。
- (3) 保安防災意識、安全活動の強化
  - ・消防計画および社内保安基準類の見直し整備を実施し、従業員および協力会社の全員を対象とした教育を実施する等、危機管理および防火管理の強化、保安教育の充実強化を図ってまいります。
  - ・作業マニュアルの改定および静電気対策についての安全教育等を実施し、その徹底を行うことにより、操業管理レベルの更なる向上を図り、従業員における静電気帯電および粉塵爆発の危険性に関する防災意識の向上に努め、また日頃からの危険予防活動を積極的に展開してまいります。
- (4) 水平展開の実施
  - ・第一工場再開に向けた対策は、上記を検討し、織り込んだものとします。
  - ・第二工場再スタートは、窒素シール化による着火防止対策の実施、作業マニュアル改定、保安防災教育の徹底を行い、さらに消防計画および社内保安基準類の見直し整備を行った上で実施いたします。

以上